

○ 土地改良事業等請負工事積算基準等の運用（平成 13 年 3 月 22 日 12 農振第 1686 号農村振興局整備部長通知）一部改正新旧対照表

(下線部は改正部分)

改 正 後	現 行
<p>II. 土地改良事業等請負工事積算基準の運用事項</p> <p>第 2～第 7 [略]</p> <p>第 8 工事価格</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">設計変更に伴う工事価格の計算例を示されたい。</div> <p>請負工事の設計変更は、官積算により、次の方法で行うものとする。</p> <p>(1)・(2) [略]</p> <p>(3) 計算式</p> <p>当初官積算額 210,000 千円 請負額 205,800 千円</p> <p>ア. 第 1 回変更官積算工事価格 230,000 千円</p> $\text{工事価格 (落札率を乗じた額)} = \frac{205,800}{210,000} \times 230,000 = 225,400 \text{ 千円}$ <p>第 1 回変更設計額 = 225,400 千円 × (1 + <u>0.08</u>) = <u>243,432</u> 千円</p> <p>イ. 第 2 回変更官積算工事価格 208,000 千円 第 1 回変更請負額 231,000 千円</p> $\text{工事価格 (落札率を乗じた額)} = \frac{231,000}{230,000 \times (1+0.08)} \times 208,000 = \underline{193,429} \text{ 千円}$ <p>第 2 回変更設計額 = <u>193,429</u> 千円 × (1 + <u>0.08</u>) = <u>208,903</u> 千円</p> <p>ウ. 第 3 回変更官積算工事価格 220,000 千円 第 2 回変更請負額 207,900 千円</p> $\text{工事価格 (落札率を乗じた額)} = \frac{207,900}{208,000 \times (1+0.08)} \times 220,000 = \underline{203,605} \text{ 千円}$ <p>第 3 回変更設計額 = <u>203,605</u> 千円 × (1 + <u>0.08</u>) = <u>219,893</u> 千円</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">工事価格を算出する場合の端数処理について示されたい。</div> <p>[略]</p>	<p>II. 土地改良事業等請負工事積算基準の運用事項</p> <p>第 2～第 7 [略]</p> <p>第 8 工事価格</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">設計変更に伴う工事価格の計算例を示されたい。</div> <p>請負工事の設計変更は、官積算により、次の方法で行うものとする。</p> <p>(1)・(2) [略]</p> <p>(3) 計算式</p> <p>当初官積算額 210,000 千円 請負額 205,800 千円</p> <p>ア. 第 1 回変更官積算工事価格 230,000 千円</p> $\text{工事価格 (落札率を乗じた額)} = \frac{205,800}{210,000} \times 230,000 = 225,400 \text{ 千円}$ <p>第 1 回変更設計額 = 225,400 千円 × (1 + <u>0.05</u>) = <u>236,670</u> 千円</p> <p>イ. 第 2 回変更官積算工事価格 208,000 千円 第 1 回変更請負額 231,000 千円</p> $\text{工事価格 (落札率を乗じた額)} = \frac{231,000}{230,000 \times (1+0.05)} \times 208,000 = \underline{198,950} \text{ 千円}$ <p>第 2 回変更設計額 = <u>198,950</u> 千円 × (1 + <u>0.05</u>) = <u>208,898</u> 千円</p> <p>ウ. 第 3 回変更官積算工事価格 220,000 千円 第 2 回変更請負額 207,900 千円</p> $\text{工事価格 (落札率を乗じた額)} = \frac{207,000}{208,000 \times (1+0.05)} \times 220,000 = \underline{209,420} \text{ 千円}$ <p>第 3 回変更設計額 = <u>209,420</u> 千円 × (1 + <u>0.05</u>) = <u>219,891</u> 千円</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">工事価格を算出する場合の端数処理について示されたい。</div> <p>[略]</p>

Ⅲ. 土地改良事業等請負工事共通仮設費算定基準の運用事項

第3 運搬費、準備費、安全費、役務費、技術管理費及び営繕費の積算方法

1. 共通仮設費率の算定

[中略]

共通仮設費、現場管理費、一般管理費等の対象額の区分について示されたい。

共通仮設費、現場管理費、一般管理費等の対象金額は、下記の表を参考に計上する。

間接工事費等		共通仮設費	現場管理費	一般管理費等	備考
対象額		対象額	直接工事費+共通仮設費+支給品費+官貸額=純工事費	純工事費+現場管理費=工事原価	
項目					
桁等購入費	×	○	○	○	
処分費等	別途「処分費等の扱い」(積算基準の運用)参照				
支給品費等	桁等購入費	×	○	×	
	一般材料費	○	○	×	
	別途製作の製作費	×	×	×	
	電力	○	○	×	
官貸額	○	○	×		
現場発生品	×	×	×	×	

(注) 1. 共通仮設費対象額とは、直接工事費+支給品費+官貸額+事業損失防止施設費+準備費に含まれる処分費である。

2. ・3. [略]

2. 共通仮設費率及び現場管理費率の補正

[中略]

産業廃棄物の処分費等を含む場合の積算方法を示されたい。

処分費等を含む工事の積算は、下表のとおりとする。

区分	処分費等が共通仮設費対象金額に占める割合が3%以下かつ処分費等が3千万円以下の場合	処分費等が共通仮設費対象金額に占める割合が3%を超える場合、または処分費等が3千万円を超える場合
共通仮設費 現場管理費 一般管理費等	全額を率の対象とする。	処分費等が共通仮設費対象金額に占める割合の3%とし、3%を超える金額は、率計算の対象としない。ただし、対象となる金額は3千万円を上限とする。

(注) [略]

[以下略]

Ⅲ. 土地改良事業等請負工事共通仮設費算定基準の運用事項

第3 運搬費、準備費、安全費、役務費、技術管理費及び営繕費の積算方法

1. 共通仮設費率の算定

[中略]

共通仮設費、現場管理費、一般管理費等の対象額の区分について示されたい。

共通仮設費、現場管理費、一般管理費等の対象金額は、下記の表を参考に計上する。

間接工事費等		共通仮設費	現場管理費	一般管理費等	備考
対象額		対象額	直接工事費+共通仮設費+支給品費+官貸額=純工事費	純工事費+現場管理費=工事原価	
項目					
桁等購入費	×	○	○	○	
処分費等	別途「処分費等の扱い」(積算基準の運用)参照				
支給品費等	桁等購入費	×	○	×	
	一般材料費	○	○	×	
	別途製作の製作費	×	×	×	
	電力	○	○	×	
官貸額	○	○	×		
現場発生品	×	×	×	×	

(注) 1. 共通仮設費対象額とは、直接工事費+支給品費+官貸額+事業損失防止施設費である。

2. ・3. [略]

2. 共通仮設費率及び現場管理費率の補正

[中略]

産業廃棄物の処分費等を含む場合の積算方法を示されたい。

処分費等を含む工事の積算は、下表のとおりとする。

区分	処分費等が「共通仮設費対象金額+準備費に含まれる処分費」に占める割合が3%以下かつ処分費等が3千万円以下の場合	処分費等が「共通仮設費対象金額+準備費に含まれる処分費」に占める割合が3%を超える場合、または処分費等が3千万円を超える場合
共通仮設費 現場管理費 一般管理費等	全額を率の対象とする。	処分費等が「共通仮設費対象金額+準備費に含まれる処分費」に占める割合の3%とし、3%を超える金額は、率計算の対象としない。ただし、対象となる金額は3千万円を上限とする。

(注) [略]

[以下略]

IV. 土地改良事業等請負工事標準歩掛の運用事項

11. トンネル工

①岩トンネル（レッグ工法）

1. [略]

5. [略]

7. 覆工コンクリート

スライディングフォームによりコンクリートを打設する場合の標準的な養生時間を示されたい。

[略]

鋼製スライディングフォームの損料はどのように算定するのか。

鋼製スライディングフォーム（標準馬蹄形及び3Rホロ形）損料				
内空半径 r m	質量(参考) t/基	基礎価格 千円/基	損料	摘要
0.9	14.5	15,600	施工1m当り損料 $= (0.00024 + 0.48/L) \times P$ P:スライディングフォームの基礎価格(円) L:巻立施工延長(m)	フォーム長 12m/基 に適用
1.0	15.7	16,000		
1.1	17.0	16,400		
1.2	18.2	16,800		
1.3	19.4	17,200		

(注) [略]

② [略]

③ [略]

15. 仮設工

⑦ [略]

⑭ [略]

⑰ 油圧圧入引抜工

5-2 圧入作業（継施工）

油圧式杭圧入引抜機による圧入作業において、継ぎ施工となる場合の継ぎ施工費について示されたい。

継ぎ施工費とは、溶接棒費用、補強板材料費及び開先加工費である。

なお、継ぎ施工費の計上については下記のとおりとする。

継ぎ施工費	
鋼矢板型式	継ぎ施工費 (円/箇所)
II型	6,130 円
III型	6,440 円

IV. 土地改良事業等請負工事標準歩掛の運用事項

11. トンネル工

①岩トンネル（レッグ工法）

1. [略]

5. [略]

7. 覆工コンクリート

スライディングフォームによりコンクリートを打設する場合の標準的な養生時間を示されたい。

[略]

鋼製スライディングフォームの損料はどのように算定するのか。

鋼製スライディングフォーム（標準馬蹄形及び3Rホロ形）損料				
内空半径 r m	質量(参考) t/基	基礎価格 千円/基	損料	摘要
0.9	14.5	14,100	施工1m当り損料 $= (0.00024 + 0.48/L) \times P$ P:スライディングフォームの基礎価格(円) L:巻立施工延長(m)	フォーム長 12m/基 に適用
1.0	15.7	14,500		
1.1	17.0	14,900		
1.2	18.2	15,300		
1.3	19.4	15,700		

(注) [略]

② [略]

③ [略]

15. 仮設工

⑦ [略]

⑭ [略]

⑰ 油圧圧入引抜工

5-2 圧入作業（継施工）

油圧式杭圧入引抜機による圧入作業において、継ぎ施工となる場合の継ぎ施工費について示されたい。

継ぎ施工費とは、溶接棒費用、補強板材料費及び開先加工費である。

なお、継ぎ施工費の計上については下記のとおりとする。

継ぎ施工費	
鋼矢板型式	継ぎ施工費 (円/箇所)
II型	6,120 円
III型	6,430 円

IV型	6,820 円
VL型	7,980 円
VI _L 型	8,250 円
II _w 型	7,470 円
III _w 型	7,700 円
IV _w 型	8,230 円

⑩ [略]

17. 市場単価

工期算定

市場単価の工期算定はどのように算出するのか示されたい。

市場単価の工期算定は、下記の「市場単価の1日当り標準施工量」を用いて算定するものとする。

・市場単価の1日当り標準施工量

本項に記載した日当り作業量は、市場単価への移行にともない削除された工種の標準作業量を定めたものである。設定した作業量は、あくまでも標準施工の場合であるので、当該工種の施工条件、施工法、制約条件等を十分考慮の上適用の可否を検討し、使用するものとする。

① [略]

② 鉄筋工（ガス圧接）

規格 ・ 仕様	施工数量
D 1 9 + D 1 9	350 箇所
D 2 2 + D 2 2	
D 2 5 + D 2 5	
D 2 9 + D 2 9	310 箇所
D 3 2 + D 3 2	280 箇所
D 3 5 + D 3 5	240 箇所
D 3 8 + D 3 8	160 箇所
D 4 1 + D 4 1	150 箇所
D 5 1 + D 5 1	130 箇所

ガス圧接工
〔 手動（半自動） 〕
〔 自 動 〕

③～⑨ [略]

IV型	6,820 円
VL型	7,970 円
VI _L 型	8,240 円
II _w 型	7,470 円
III _w 型	7,700 円
IV _w 型	8,230 円

⑩ [略]

17. 市場単価

工期算定

市場単価の工期算定はどのように算出するのか示されたい。

市場単価の工期算定は、下記の「市場単価の1日当り標準施工量」を用いて算定するものとする。

・市場単価の1日当り標準施工量

本項に記載した日当り作業量は、市場単価への移行にともない削除された工種の標準作業量を定めたものである。設定した作業量は、あくまでも標準施工の場合であるので、当該工種の施工条件、施工法、制約条件等を十分考慮の上適用の可否を検討し、使用するものとする。

① [略]

② 鉄筋工（ガス圧接）

規格 ・ 仕様	施工数量
D 1 9 + D 1 9	350 箇所
D 2 2 + D 2 2	
D 2 5 + D 2 5	
D 2 9 + D 2 9	310 箇所
D 3 2 + D 3 2	280 箇所
D 3 5 + D 3 5	240 箇所
D 3 8 + D 3 8	160 箇所
D 4 1 + D 4 1	150 箇所
D 5 1 + D 5 1	130 箇所

手動・半自動・自動ガス圧接工

③～⑨ [略]

⑩ 道路付属物設置工

表 10.1 視線誘導標

施工区分	設置区分	反射体区分	規格	施工数量
標準型	土中建込用	両面反射 φ100以下	支柱径 φ34	40本
			支柱径 φ60.5	40本
			支柱径 φ89	40本
		両面反射 φ300	支柱径 φ60.5	40本
		片面反射 φ100以下	支柱径 φ34	40本
			支柱径 φ60.5	40本
			支柱径 φ89	40本
		片面反射 φ300	支柱径 φ60.5	40本
		コンクリート建込用 (穿孔含む)	両面反射 φ100以下	支柱径 φ34
	支柱径 φ60.5			25本
	支柱径 φ89			25本
	両面反射 φ300		支柱径 φ60.5	25本
	片面反射 φ100以下		支柱径 φ34	25本
			支柱径 φ60.5	25本
			支柱径 φ89	25本
	片面反射 φ300		支柱径 φ60.5	25本
	コンクリート建込用 (穿孔含まない)		両面反射 φ100以下	支柱径 φ34
		支柱径 φ60.5		200本
		支柱径 φ89		200本
		両面反射 φ300	支柱径 φ60.5	200本
		片面反射 φ100以下	支柱径 φ34	200本
			支柱径 φ60.5	200本
			支柱径 φ89	200本
		片面反射 φ300	支柱径 φ60.5	200本
防護柵取付用		両面反射 φ100以下	バンド式	100本
	ボルト式		100本	
	かぶせ式		100本	
	両面反射 φ300	バンド式	100本	
	片面反射 φ100以下	バンド式	100本	
		ボルト式	100本	
		かぶせ式	100本	
	片面反射 φ300	バンド式	100本	
	構造物取付用	両面反射 φ100以下	側壁用	40本
ベースプレート式			40本	
両面反射 φ300		ベースプレート式	40本	
片面反射 φ100以下		側壁用	40本	
		ベースプレート式	40本	
片面反射 φ300		ベースプレート式	40本	

表 10.2 視線誘導標 [略]

表 10.3 視線誘導標 [略]

⑩ 道路付属物設置工

表 10.1 視線誘導標

施工区分	設置区分	反射体区分	規格	施工数量
標準型	土中建込用	両面反射 φ100以下	支柱径 φ34	40本
			支柱径 φ60.5	40本
			支柱径 φ89	40本
		両面反射 φ100を超えφ300以下	—	40本
		片面反射 φ100以下	支柱径 φ34	40本
			支柱径 φ60.5	40本
			支柱径 φ89	40本
		片面反射 φ100を超えφ300以下	—	40本
		コンクリート建込用 (穿孔含む)	両面反射 φ100以下	支柱径 φ34
	支柱径 φ60.5			25本
	支柱径 φ89			25本
	両面反射 φ100を超えφ300以下		—	25本
	片面反射 φ100以下		支柱径 φ34	25本
			支柱径 φ60.5	25本
			支柱径 φ89	25本
	片面反射 φ100を超えφ300以下		—	25本
	コンクリート建込用 (穿孔含まない)		両面反射 φ100以下	支柱径 φ34
		支柱径 φ60.5		200本
		支柱径 φ89		200本
		両面反射 φ100を超えφ300以下	—	200本
		片面反射 φ100以下	支柱径 φ34	200本
			支柱径 φ60.5	200本
			支柱径 φ89	200本
		片面反射 φ100を超えφ300以下	—	200本
防護柵取付用		両面反射 φ100以下	バンド式	100本
	ボルト式		100本	
	かぶせ式		100本	
	両面反射 φ100を超えφ300以下	バンド式	100本	
	片面反射 φ100以下	バンド式	100本	
		ボルト式	100本	
		かぶせ式	100本	
	片面反射 φ100を超えφ300以下	バンド式	100本	
	構造物取付用	両面反射 φ100以下	側壁用	40本
ベースプレート式			40本	
両面反射 φ100を超えφ300以下		ベースプレート式	40本	
片面反射 φ100以下		側壁用	40本	
		ベースプレート式	40本	
片面反射 φ100を超えφ300以下		ベースプレート式	40本	

表 10.2 視線誘導標 [略]

表 10.3 視線誘導標 [略]

⑪ 排水構造物工

表 11.1

区 分	規格・仕様	施工数量
U形側溝	L=600m	60kg/個以下
		60を超え300kg/個以下
	L=2,000m	1,000kg/個以下
		1,000を超え2,000kg/個以下
	2,000を超え2,900kg/個以下	

※ [略]

表 11.2

区 分	規格・仕様	施工数量
自由勾配側溝	L=2,000m	1,000kg/個以下
		1,000を超え2,000kg/個以下
		2,000を超え2,900kg/個以下

※ [略]

表 11.3 [略]

⑫ コンクリートブロック積工

表 12.1

区 分	規格・仕様	施工数量
コンクリートブロック積工	基礎砕石工 裏込砕石工 ブロック積工 込みでブロック面積当りとする。	11m ²

※ [略]

⑭ 吹付砕工

表 14.1 [略]

表 14.2

区 分	規格・仕様	施工数量
ラス張工	法面清掃 及びラス・アンカーピン設置	140m ²

⑮～⑯ [略]

19. その他

①～⑩ [略]

⑪ バイプロハンマエ (継施工)

継ぎ施工費

継ぎ施工費について示されたい。

継ぎ施工費の計上については下記のとおりとする。

継ぎ施工費

⑪ 排水構造物工

表 11.1

区 分	規格・仕様	施工数量
U形側溝	L=600	60kg/個以下
		60を超え300kg/個以下
	L=2,000	1,000kg/個以下
		1,000を超え2,000kg/個以下
	2,000を超え2,900kg/個以下	

※ [略]

表 11.2

区 分	規格・仕様	施工数量
自由勾配側溝	L=2,000	1,000kg/個以下
		1,000を超え2,000kg/個以下
		2,000を超え2,900kg/個以下

※ [略]

表 11.3 [略]

⑫ コンクリートブロック積工

表 12.1

区 分	規格・仕様	施工数量
コンクリート積ブロック	基礎砕石工 裏込砕石工 ブロック積工 込みでブロック面積当りとする。	11m ²

※ [略]

⑭ 吹付砕工

表 14.1 [略]

表 14.2

区 分	規格・仕様	施工数量
ラス張工	[新設]	140m ²

⑮～⑯ [略]

19. その他

①～⑩ [略]

⑪ バイプロハンマエ (継施工)

継ぎ施工費

継ぎ施工費について示されたい。

継ぎ施工費の計上については下記のとおりとする。

継ぎ施工費

鋼矢板型式		継ぎ施工費 (円/箇所)
鋼	II型	6,130
	III型	6,440
	IV型	6,820
矢	VI型	7,980
	IIw型	7,470
	IIIw型	7,700
板	IVw型	8,230
	10H型 (ハット)	11,900
	25H型 (ハット)	12,600
H 形 鋼	H250	16,200
	H300	21,400
	H350	26,500
	H400	38,300

(注) [略]

⑫ 油圧圧入引抜工 (ハット形鋼矢板)

継ぎ施工費

継ぎ施工費について示されたい。

継ぎ施工費の計上については下記のとおりとする。

継ぎ施工費

鋼矢板型式	継ぎ施工費 (円/箇所)
10H型 (ハット)	11,900
25H型 (ハット)	12,600

(注) [略]

⑬ [略]

鋼矢板型式		継ぎ施工費 (円/箇所)
鋼	II型	6,120
	III型	6,430
	IV型	6,820
矢	VI型	7,970
	IIw型	7,470
	IIIw型	7,700
板	IVw型	8,230
	10H型 (ハット)	11,800
	25H型 (ハット)	12,600
H 形 鋼	H250	15,900
	H300	21,000
	H350	25,900
	H400	37,600

(注) [略]

⑫ 油圧圧入引抜工 (ハット形鋼矢板)

継ぎ施工費

継ぎ施工費について示されたい。

継ぎ施工費の計上については下記のとおりとする。

継ぎ施工費

鋼矢板型式	継ぎ施工費 (円/箇所)
10H型 (ハット)	11,800
25H型 (ハット)	12,600

(注) [略]

⑬ [略]

V. 土地改良事業等請負工事機械経費算定基準の運用事項

[中略]

(機械損料の積算)

損料算定表に記載のない機械はどのように算定したらよいか。

次表を参考に算定されたい。

損料算定表 (一般機械)

分類 コード	規 格			(1) 基礎 価格 (千円)	(2) 標準 使用 年数 (年)	年 間 標 準			(6) 維持 修理 費率 (%)	(7) 年間 管理 費率 (%)	残 存 率 (%)	運転1時間当たり		供用1日当たり		参 考				摘 要
	諸 元	機関 出力 kW	機械 質量 (t)			(3) 運 転 時 間 (時間)	(4) 運 転 日 数 (日)	(5) 供 用 日 数 (日)				(8) 損 料 率 (%) ($\times 10^{-6}$)	(9) 損 料 (円)	(10) 損 料 率 (%) ($\times 10^{-6}$)	(11) 損 料 (円)	運 転 1 時 間 当 た り 換 算 値		供 用 1 日 当 た り 換 算 値		
												(12) 損 料 率 (%) ($\times 10^{-6}$)	(13) 損 料 (円)	(14) 損 料 率 (%) ($\times 10^{-6}$)	(15) 損 料 (円)					
	【ブルドーザ及びスクレーパ】 ブルドーザ 【超湿地】 13t級	96	14.5	12,500	12.5	400	80	140	30	9.0	11	149	1,860	897	11,200	463	5,790	1,323	16,500	
	【クレーンその他荷役機械】																			
	【基礎工事用機械】																			
	【新設】 【新設】 【新設】																			
	【コンクリート機械】 コンクリート圧送管 径125mm 1m当り	-	-	6	0.8	430	70	140	15	9.0	9	1,759	11	4,705	28	3,291	20	10,107	61	径125mm直管、曲管、中間ホース、先端ホース(いずれもビッドリクワンポイント含む)
	【ウインチ類】 ウインチ 【複胴開放式・ディーゼル】 巻上能力 1.80t 巻上能力 2.80t 巻上能力 4.20t	48.5 48.5 108	1.6 2.2 3.1	2,180 2,880 3,570	14.0 14.0 14.0	- - -	100 100 100	160 160 160	135 135 135	7.0 7.0 7.0	7 7 7	(日) 1,296 (日) 1,296 (日) 1,296	(日) 2,830 (日) 3,730 (日) 4,630	645 645 645	1,410 1,860 2,300	(日) 2,329 (日) 2,329 (日) 2,329	(日) 5,080 (日) 6,710 (日) 8,310	1,455 1,455 1,455	3,170 4,190 5,190	
	【試験測定機器】 コア採取器 (コアボーリングマシン) 穿孔径5~15cm 穿孔深50cm 穿孔径10~25cm 穿孔深50cm	2.9 4.8	0.17 0.18	345 560	5.0 5.0	- -	70 70	90 90	80 80	9.0 9.0	7 7	(日) 3,614 (日) 3,614	(日) 1,250 (日) 2,020	2,033 2,033	701 1,140	(日) 6,229 (日) 6,229	(日) 2,150 (日) 3,490	4,844 4,844	1,670 2,710	エンジンを含み、ビット、コアチップ、アダプタは含まない。

V. 土地改良事業等請負工事機械経費算定基準の運用事項

[中略]

(機械損料の積算)

損料算定表に記載のない機械はどのように算定したらよいか。

次表を参考に算定されたい。

損料算定表（一般機械）

分類 コード	規格		(1) 基礎 価格 (千円)	(2) 標準 使用 年数 (年)	(3) 年間標準			(6) 維持 修理 費率 (%)	(7) 年間 管理 費率 (%)	残 存 率 (%)	運転1時間当たり		供用1日当たり		参 考				摘 要	
	諸 元	機関 出力 kW			機 械 質 量 (t)	(3) 運 転 時 間 (時間)	(4) 運 転 日 数 (日)				(5) 供 用 日 数 (日)	(8) 損 料 率 ($\times 10^{-6}$)	(9) 損 料 (円)	(10) 損 料 率 ($\times 10^{-6}$)	(11) 損 料 (円)	運 転 1 時 間 当 た り 換 算 値		供 用 1 日 当 た り 換 算 値		
												(12) 損 料 率 ($\times 10^{-6}$)	(13) 損 料 (円)	(14) 損 料 率 ($\times 10^{-6}$)	(15) 損 料 (円)					
【ブルドーザ及びスクレーパ】 ブルドーザ 【超湿地】	13t級	96	14.5	12,500	12.5	400	80	140	30	9.0	11	149	1,860	897	11,200	463	5,790	1,323	16,500	
【クレーンその他荷役機械】																				
【基礎工用機械】																				
【せん孔機械及びトンネル工用機械】 自由断面トンネル掘削機	掘削高 掘削幅 カッタヘッド 4.2m 4.7m 30~49kW	68	19.0	39,600	5.0	880	140	190	55	9.0	7	231	9,150	963	38,100	439	17,400	2,032	80,500	掘削高(m) 掘削幅(m) 2.8~4.2 3.7~4.7 ビットの消耗費は、別途 とする。
【コンクリート機械】 コンクリート圧送管	径125mm 1m当り	-	-	6	0.8	430	70	140	15	9.0	9	1,759	11	4,705	28	3,291	20	10,107	61	{ 径125mm直管、曲管、中 間ホース、先端ホース(いずれ もビトリグジョイント含む) 含む。
【ウインチ類】 ウインチ 【複胴開放式・ディーゼル】	巻上能力 1.80t 巻上能力 2.80t 巻上能力 4.20t	48.5 48.5 108	1.6 2.2 3.1	2,180 2,880 3,570	14.0 14.0 14.0	- - -	100 100 100	160 160 160	135 135 135	7.0 7.0 7.0	7 7 7	(日) 1,296 (日) 1,296 (日) 1,296	(日) 2,830 (日) 3,730 (日) 4,630	645 645 645	1,410 1,860 2,300	(日) 2,329 (日) 2,329 (日) 2,329	(日) 5,080 (日) 6,710 (日) 8,310	1,455 1,455 1,455	3,170 4,190 5,190	
【試験測定機器】 コア採取器(コアボーリングマシン)	穿孔径5~15cm 穿孔深50cm 穿孔径10~25cm 穿孔深50cm	2.9 4.8	0.17 0.18	345 560	5.0 5.0	- -	70 70	90 90	80 80	9.0 9.0	7 7	(日) 3,614 (日) 3,614	(日) 1,250 (日) 2,020	2,033 2,033	701 1,140	(日) 6,229 (日) 6,229	(日) 2,150 (日) 3,490	4,844 4,844	1,670 2,710	{ エンジンを含み、ビット、コ アチューブ、アダプタは含まな い。

[中略]

(運転経費の積算)

燃料消費量

機械経費算定基準以外の燃料消費率を示されたい。

{ エンジンオイル、ウエス、バッテリー液、ギヤオイル、グリス、ブレーキオイル等を含む }

運転1時間当り燃料消費率

機 械 名	規格又は区分	燃料消費率 (ℓ/kWh)	摘 要
レーキドーザ		0.175	
トラクタ	クローラ式		
スクレープドーザ			
タイヤドーザ			
泥土掘削機		0.175	
トレンチャ		0.152	
ダンプトラック	ガソリン	G0.071	
不整地運搬車	ホイール型	0.160	
シャトルカー		E0.560 kWh/kW	
タワークレーン		0.101 E0.305 kWh/kW	
ジブクレーン		E0.305 kWh /kW	
二本構リフト	モータウインチ		
一本構リフト	モータウインチ		
工事中エレベータ			
門型クレーン			
簡易ケーブルクレーン		0.108	
フォークリフト		0.037	
クローラ式	ベースマシン	0.085	フロント装置吊上げクレーンは杭打機(ベースマシン)を適用
サンドバイル打機	装置	E0.305 kWh/kW	
粉体噴射攪拌機	単軸式	E0.305 kWh/kW	
トラック式アースオーガ		0.053	
ラフテレンクレーン装着式アースオーガ		0.103	
アースドリル掘削機		0.093	
リバースサーキュレーションドリル		E0.426kWh/kW	
杭打やぐら		E0.305kWh/kW	
サイクロン		E0.900 kWh/kW	
サクシオンポンプ			
圧送ポンプ			
安定液ミキサ		E0.533 kWh/kW	
泥排水処理装置	ベルトプレス式	E0.871 kWh/kW	
汚泥吸排車		0.053	
ニューマチックケーソン施工機器(潜函用ショベル)		E0.600 kWh/kW	

[中略]

(運転経費の積算)

燃料消費量

機械経費算定基準以外の燃料消費率を示されたい。

{ エンジンオイル、ウエス、バッテリー液、ギヤオイル、グリス、ブレーキオイル等を含む }

運転1時間当り燃料消費率

機 械 名	規格又は区分	燃料消費率 (ℓ/kWh)	摘 要
レーキドーザ		0.175	
トラクタ	クローラ式		
スクレープドーザ			
タイヤドーザ			
泥土掘削機		0.175	
トレンチャ		0.152	
ダンプトラック	国産ガソリン	G0.071	
不整地運搬車	ホイール型	0.160	
シャトルカー		E0.560 kWh/kW	
タワークレーン		0.101 E0.305 kWh/kW	
ジブクレーン		E0.305 kWh /kW	
二本構リフト	モータウインチ		
一本構リフト	モータウインチ		
工事中エレベータ			
門型クレーン			
簡易ケーブルクレーン		0.108	
フォークリフト		0.037	
クローラ式	ベースマシン	0.085	フロント装置吊上げクレーンは杭打機(ベースマシン)を適用
サンドバイル打機	装置	E0.305 kWh/kW	
粉体噴射攪拌機	単軸式	E0.305 kWh/kW	
トラック式アースオーガ		0.053	
ラフテレンクレーン装着式アースオーガ		0.103	
アースドリル掘削機		0.093	
リバースサーキュレーションドリル		E0.426kWh/kW	
杭打やぐら		E0.305kWh/kW	
サイクロン		E0.900 kWh/kW	
サクシオンポンプ			
圧送ポンプ			
安定液ミキサ		E0.533 kWh/kW	
泥排水処理装置	ベルトプレス式	E0.871 kWh/kW	
汚泥吸排車		0.053	
ニューマチックケーソン施工機器(潜函用ショベル)		E0.600 kWh/kW	

クーリングタワー		E0.700 kWh/kW	
シールド工事用機器	パワーユニット	E0.533 kWh/kW	
一次分離機			
汚水槽			
粘土溶解槽		E0.900 kWh/kW	
高分子凝集剤溶解槽			
スラリーポンプ			
インナーバイブレータ（自走式）		0.122	
コンクリートミキサ		E0.495 kWh/kW	
コンクリートポンプ		E0.410 kWh/kW	
法面締固め機		0.167	
チップスプレッド		0.127	
アスファルトクッカ		0.164	
コンクリート横取り機		0.293	
ジョイントクリーナ		G0.174	
振動目地切機			
区画線消去機	ハンドガイド機	G0.233	
ラインマーカ	ペイント・パッドが付く	0.068	
	溶融自走式		
	ペイント・自走式		
	ペイント・車載式		
溶解槽			
排水性舗装機能回復車		0.063	
シャ光性遮音壁清掃車		0.040	
歩道清掃車			
排水管清掃車	CNG	C0.043m ³ /kW-h	
小型多段遠心ポンプ		E0.900 kWh/kW	
真空ポンプ			
電動ホイスト			
チェンブロック（電動式）		E0.305 kWh/kW	
土砂排出機			
簡易やぐら			
両端固定式 ケーブルクレーン		E0.305 kWh/kW 0.108	
ムカデコンベア		E0.560 kWh/kW	
油圧ジャッキ		E0.533 kWh/kW	
コンクリート吹付機			
急結剤供給装置（吹付機用）		E0.410 kWh/kW	
種子吹付機		0.191	
エンジン付ミキサ		G0.162	
高圧洗浄機（工専用・エンジン駆動）		E0.900 kWh/kW G0.255	
薬剤散布機		0.103	
エレクタ		E0.255 kWh/kW	
切断機		E0.305 kWh/kW	

クーリングタワー		E0.700 kWh/kW	
シールド工事用機器	パワーユニット	E0.533 kWh/kW	
一次分離機			
汚水槽			
粘土溶解槽		E0.900 kWh/kW	
高分子凝集剤溶解槽			
スラリーポンプ			
インナーバイブレータ（自走式）		0.122	
コンクリートミキサ		E0.495 kWh/kW	
コンクリートポンプ		E0.410 kWh/kW	
法面締固め機		0.167	
チップスプレッド		0.127	
アスファルトクッカ		0.164	
コンクリート横取り機		0.293	
ジョイントクリーナ		G0.174	
振動目地切機			
区画線消去機	ハンドガイド機	G0.233	
ラインマーカ	ペイント・パッドが付く	0.068	
	溶融自走式		
	ペイント・自走式		
	ペイント・車載式		
溶解槽			
排水性舗装機能回復車		0.063	
透光性遮音壁清掃車		0.040	
歩道清掃車			
排水管清掃車	CNG	C0.043m ³ /kW-h	
小型多段遠心ポンプ		E0.900 kWh/kW	
真空ポンプ			
電動ホイスト			
チェンブロック（電動式）		E0.305 kWh/kW	
土砂排出機			
簡易やぐら			
両端固定式 ケーブルクレーン		E0.305 kWh/kW 0.108	
ムカデコンベア		E0.560 kWh/kW	
油圧ジャッキ		E0.533 kWh/kW	
コンクリート吹付機			
急結剤供給装置（吹付機用）		E0.410 kWh/kW	
種子吹付機		0.191	
エンジン付ミキサ		G0.162	
高圧洗浄機（工専用・エンジン駆動）		E0.900 kWh/kW G0.255	
薬剤散布機		0.103	
エレクタ		E0.255 kWh/kW	
切断機		E0.305 kWh/kW	

草結束機		G0.515	
木材破砕機		0.185	
自走式破砕機			
チェンソー		G0.450 ℓ/h	左記は時間当り燃料消費量である。
ポンプ浚渫船		E1.217 kWh/kW	
除雪ドーザ	クローラ	0.166	
ロータリ除雪装置		0.141	ロータリ式88kW型 ペーパマシン(除雪ドーザ)
機関車(整流器付)	バッテリー駆動式	E2.095 kWh/kW	
スライム回収機	自走式	0.053	

(注) G:ガソリン、E:電力、C:圧縮天然ガス、無印:軽油

[削る]

[略]

草結束機		G0.515	
木材破砕機		0.185	
自走式破砕機			
チェンソー		G0.450 ℓ/h	左記は時間当り燃料消費量である。
ポンプ浚渫船		E1.217 kWh/kW	
除雪ドーザ	クローラ	0.166	
ロータリ除雪装置		0.141	ロータリ式88kW型 ペーパマシン(除雪ドーザ)
機関車(整流器付)	バッテリー駆動式	E2.095 kWh/kW	
スライム回収機	自走式	0.053	

(注) G:ガソリン、E:電力、C:圧縮天然ガス、無印:軽油

標準運転時間及び運転日当り燃料消費量

工種名	機械名	消費量
コンクリート工	ジェットヒータ 126MJ (30,100 kcal/h)	灯油 3.6ℓ/h
コンクリート削孔工	コアローリングマシン(削孔径φ52~250mm)	電力 0.86kWh

[略]